

## ●●● 堆肥センター協議会の活動状況 ●●●

### 鹿児島県良質堆肥生産利用推進協議会の活動について

鹿児島県良質堆肥生産利用協議会  
事務局 新牛込 純治

#### はじめに

本県は全国有数の畜産県であることから、多量の家畜排せつ物が排出され、これらの適正処理と有効活用を図ることが懸案となっています。

家畜排せつ物については、その多くが堆肥に仕向けられていますが、良質な堆肥が生産されていなかったり、耕種農家での利用が十分なされていないなど、家畜排せつ物の適正処理を推進する上でも解決しなくてはならない問題が少なくありません。

そこで、本県における良質堆肥の利用促進方策の策定、良質堆肥の生産・利用技術の確立・普及、堆肥の低コスト生産等広範な課題の解決に努め、家畜排せつ物の適正処理と良質堆肥化による利用促進を図り、環境と調和した農畜産業の発展に資するため「鹿児島県良質堆肥生産利用推進協議会」が平成13年7月に設立されました。発足後3年目を迎える当協議会の概要について紹介します。

#### 1. 協議会の概要

##### (1) 推進体制

事業の総合的推進を図るため、具体的な活動内容を検討する幹事会を置き、その中に企画調整班、指導班を設けています。また、各地域には地域協議会を設置し、それぞれの役割分担と連携を図りながら活動しており、平成15年4月現在の会員数は83機関団体となっています。

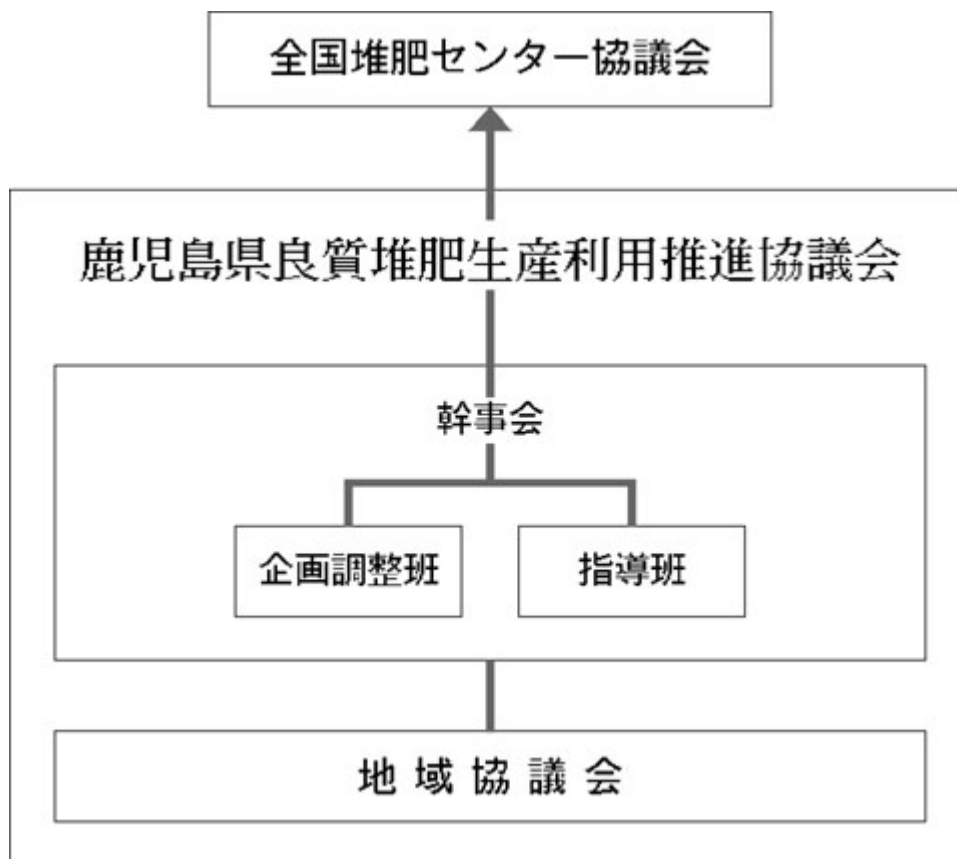


図1 協議会の推進体制

## (2)事業内容

当協議会は目的を達成するため次の事業を行うこととしています。

- ①全国堆肥センター協議会との連携
- ②堆肥の生産・利用に関する情報の収集・提供
- ③良質堆肥の生産・利用技術の普及・啓発
- ④地域に合った堆肥生産・利用モデル事例の育成・支援
- ⑤堆肥生産・利用の調査・分析及び指導
- ⑥堆肥センター、関係団体等に対する指導・助言

## 2. 平成14年度の事業活動内容

### 1)会議の開催

- ①総会 (1回)
- ②幹事会(3回)
- ③企画調整班会・指導班会(7回)

### 2)堆肥の生産・利用に関する情報の収集・提供

- ①「全国堆肥センター協議会」との連携
- ②先進事例調査・収集(宮崎県事例調査)
- ③協議会ホームページの充実

(<http://www.j-bee.com/taihi>)

\*掲載内容:会員堆肥生産販売情報

家畜ふん堆肥の特性

良質堆肥をつくるポイント

堆肥コンクール結果、会報 等

- ④協議会会報の作成・配布(年3回発行)

### 3)良質堆肥の生産及び利用技術の普及・啓発

- ①堆肥コンクールの開催

県内各地から広く募集し、観察や化学分析による審査、現地調査を実施し、入賞堆肥を選定。

(応募点数69点)

- ②堆肥生産利用研修会、堆肥生産利用相談会  
(堆肥コンクール表彰式に併せて実施)

- ③会員交流会

県内各地の堆肥生産施設を視察しながら問題点の相互検討を実施(川薩地区)

- ④指導班会による現地指導

堆肥コンクールに出品された堆肥の分析結果をもとに良質堆肥を生産するための技術指導を実施(指宿、川辺地区:会員堆肥舎10カ所)

- ⑤堆肥利用啓発資料作成、配布

家畜排せつ物由来堆肥の畜種ごとの特徴と堆肥施用効果の啓発

(リーフレット:家畜排せつ物由来の良質堆肥で土のパワーアップ!)

- ⑥堆肥生産情報資料の作成

原料搬入から生産、販売、経営まで、県内の堆肥生産施設の現状と課題等を整理

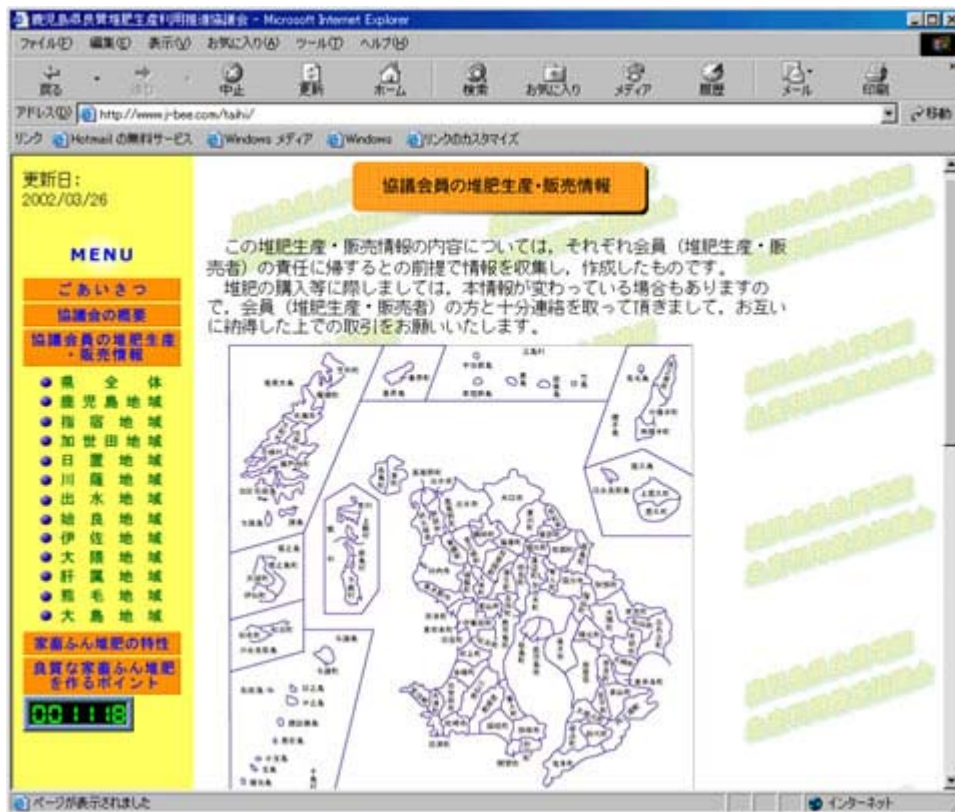
(冊子:堆肥生産施設アンケート調査結果)

### 4)地域協議会活動

①地域の実情に応じた堆肥生産利用計画の作成各地域での堆肥の生産量と地域内での利用可能量の推定、ソフト、ハード両面で整備しなければならない課題の抽出

- ②堆肥利用実証展示ほの設置

家畜排せつ物由来堆肥と化学肥料を組み合わせた成分調整型肥料の現地実証



ホームページでの情報提供



地域協議会における会員交流会・研修会



指導班による現地指導



堆肥コンクール1次審査の状況

## おわりに

平成14年度は盛りだくさんの活動ではありましたが、堆肥コンクールや良質堆肥の生産利用の推進啓発などを通じて、地域協議会との連携も軌道に乗ってきました。

15年度は各地域の堆肥生産者側、利用者の問題点とニーズを改めて整理するとともに『耕畜連携』を軸にした良質堆肥の生産と利用拡大に向けた取り組みをさらに進めていきたいと考えております。